

北海道清里高等学校

2 学年 矢口 新大
(やぐち あらた)

私が清里高校への進学を決めた理由

- 車で往復3時間かかる町外の学校に通うより、家から徒歩5分ほどの地元の高校で**自分のペースで勉強したい**と思った

1、北海道清里高等学校とは

- 北海道のオホーツク管内にある人口3,800人ほどの自然豊かな町清里町にある唯一の道立高校
- 全校生徒数89人の小規模校で、各学年1クラス
- 札幌まで車で6時間ほどかかる



国際理解、地域連携、遠隔授業「T-base」を中心とした教育を行っている

国際理解

- ・清里町からALT 2名派遣
- ・姉妹校であるモトエカハイスクール（ニュージーランド）との交流

地域連携

- ・地域施設での学校祭
- ・授業で企画する学校行事

遠隔授業「T-base」(2021年度開始)

- 札幌の配信センターの先生と双方向で対話して授業(オンライン授業)
- タブレットPCを利用し、課題提出

2、遠隔授業「T-base」について

数学Ⅱの授業（テストは単元テスト）

- ・教科書の例題や練習問題だけでなく、章末問題や模擬試験で出題された問題の解説を行っている

世界史Bの授業（テストは教科書、資料集等持ち込みで、記述式テスト）

- ・用語をただ覚えるのではなく、今日本や世界で起きていることを歴史の勉強を通して深く理解できる楽しい授業である

物理基礎の授業（テストは単元テスト）

- ・物理法則から日常生活で見られる物理現象を自ら考察し、考える授業

遠隔授業の感想

- 自分が履修したい教科を履修できるようになった
→今までは教員数が少なく、大学受験に必要な科目の履修が困難だった
- 大学受験を意識した授業ができるようになった
→大学受験を希望する人、そうでない人で分けることで、それぞれのニーズに合った授業ができるようになってきている

遠隔授業に対して要望

- 授業内での演習量を増やし、より本質に迫った授業を受けたい
- 自分に合った課題ができ、より自由度が高いシステムにしてほしい
- 模擬試験前後の支援をより充実させてほしい

3、自分の願い

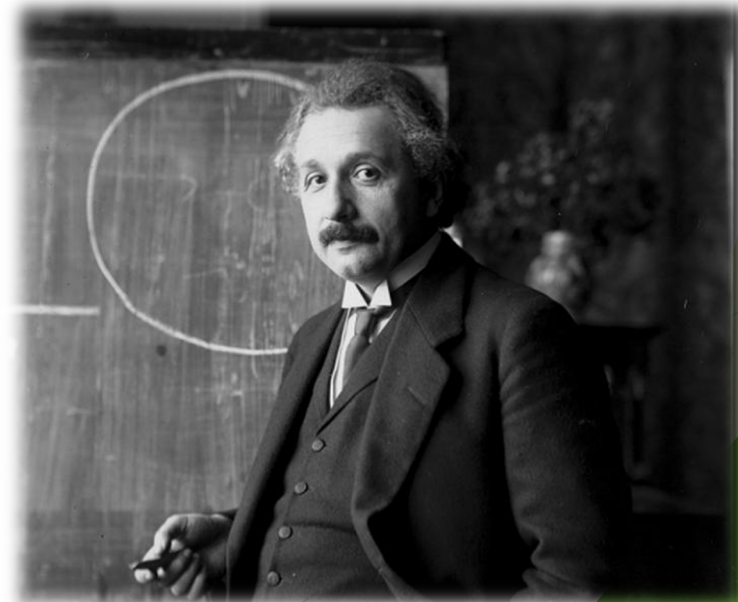
- 困っている人や、弱い立場の人を見捨てない社会づくりをする
→社会的、経済的格差がこれ以上大きくならないようにすることで、よりよい社会ができていく
- 個性を尊重し、相互理解を深められる学校になってほしい
→社会に出た時にコミュニケーションにおいて困らないような教育活動
- 教育の自由化
→それぞれのニーズに合わせた授業、互いに教え合い解決していく力を身につける

4、自分の将来の夢

- ・宇宙物理学者になること

→①中学3年生の時、学校で勉強することが将来直接役に立つような職業に就きたいと思った

②宇宙の謎を物理法則を用いて数式で表すというところに魅力を感じた



アルベルト・アインシュタイン→

5、最後に

進学校に行かずに自分の夢に向かって進めるか不安はありますが、**地元だからできないのではなく、地元だからこそできる**ということを強く思って頑張っていこうと思います。